

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	悪性軟部腫瘍における治療前栄養状態と腫瘍糖代謝の関連性の解析：横断研究
当院の研究責任者 (所属)	當銘 保則 (琉球大学大学院医学研究科 整形外科学講座)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	現時点では該当なし
本研究の目的	<p><sup>18</sup>Fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography (FDG-PET/CT)は、悪性腫瘍細胞で糖代謝が亢進していることを利用し、ブドウ糖に近似した FDG を投与してその集積を評価することで、腫瘍の局在・悪性度、再発・遠隔転移の有無や化学療法・放射線療法後の病変の活動性の評価が可能であり、悪性腫瘍の検査で使用されている。悪性腫瘍の治療前栄養状態を評価することで、治療後の生命予後を予測する研究が行われている。しかし、腫瘍糖代謝と治療前栄養状態の関連性を評価した報告は少ない。</p> <p>FDG-PET/CT における maximum standardized uptake value (SUVmax) は、関心領域 (病変) の FDG 集積の最大値を表わす半定量化したものであり、腫瘍糖代謝の指標として使用されており、悪性軟部腫瘍の生命予後評価としても使用されている。</p> <p>治療前栄養状態の評価法として、Geriatric nutritional risk index (GNRI)がある。GNRI は血清アルブミン値と体重で算出することができ、術後の生命予後を予測する指標としても研究されている。</p> <p>本研究の目的は、悪性軟部腫瘍における SUVmax と GNRI の関連性を評価することである。</p>
研究実施期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年3月31日
調査データ(該当期間)	2013年4月～2023年12月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 上記該当期間内に軟部腫瘍の診断に対して FDG-PET/CT を施行し、生検や手術で組織学的に確定診断を得ることができた患者さま</p> <p>●利用する試料・情報 本研究では試料は扱わない。情報は琉球大学病院電子カルテより、年齢、</p>

	性別、FDG-PET/CT 撮像日、SUVmax 値などのデータを抽出し匿名化したうえで解析を行う。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	現時点では該当なし
試料・情報の二次利用	関連する研究で使用する可能性あり
個人情報の取り扱い	研究責任者は、研究等の実施に係わる文書（申請書類の控え、病院長からの通知文書、各種申請書・報告書の控、研究対象者識別コードリスト、例報告書等の控、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録など）を保存し、研究発表 10 年後に匿名化したまま廃棄する。紙ベースのデータはシュレッダー等、電子データは復元できない形で削除する。また、国外の学術雑誌等への論文投稿または学会発表の際、出版社に収集した情報の提供を行う可能性があるが、その際も匿名化した形で行う様にする。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の資金は、講座等において一括管理を行う寄付金、委任経理金、沖縄整形外科学振興会、文部科学省科研費より補われる資金を利用して行う。また、琉球大学利益相反審査部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとする。
お問い合わせ先	電話：098-895-1174 担当者：琉球大学大学院医学研究科 整形外科学講座 医員 大城裕理
備考	